

第72回 「もったいない市」 開催報告

持込み 2026年5月2日(土)・3日(日) 10:00~12:00

持帰り 2026年5月10日(日) 9:30~11:00

参加人数:147名 (大人115名、子ども32名)

< 持込み量 : 81.55kg 持帰り量 : 65.15kg リユース率 : 80% >

= リユース率 : 本 87% ・ おもちゃ 99%, 婦人服 68%, 子ども服 57%, 紳士服 68% =

おもちゃや服が次の笑顔へ！
リユースの輪が広がっています！



<じゃんけん大会での勝者>

【受取時の様子】

今回の受付では、一つひとつのモノに込められた「思い出」を次の世代へつなぐ、大切な瞬間がありました。

子どもたちの決断と成長：連休中ということもあり持ち込み数は控えめでしたが、自分たちが遊び終えたおもちゃやサイズアウトした服を自ら持ってきてくれる子どもたちの姿が印象的でした。中には、手放す直前に「やっぱりまだ遊びたい」と迷う子も。しかし、ご両親の「ずっと眠っているより、次のお友達に遊んでもらった方がおもちゃも幸せだよ」という言葉に納得し、笑顔で託してくれました。

遺品に込められた想いをつなぐ：ご家族の遺品整理をされていた方は、大切にされていた衣類をお持ちくださいました。「なかなか整理がつかなかったけれど、時間が経ち、誰かに着てもらえるなら嬉しいと思えるようになった」と、生前のコーディネートのお話も交えながらお預かりしました。

「モノの人生」に寄り添う：部品が足りずその場では受け取れなかったおもちゃもありましたが、持ち主の方は「連休中に探して、次は常設の寄付として持ってくるね」と言ってくださいました。「全てのモノにも、人と同じように時間（人生）がある」。お預かりした品々を拝見し、その重みを改めて実感する時間となりました。

【市開催日の様子】

寄付された品物のうち、約8割が新しい持ち主のもとへと渡りました。大切な品々を次の方へとつなぐことができました。

心温まる譲り合い：おもちゃの「じゃんけんコーナー」では、大人が子どもを優先したり、参加者同士で譲り合ったりする姿があり、一度もじゃんけんをすることなくスムーズに引き継がれる場面がありました。

嬉しい再会：以前の「子どももったいない市」で手に入れた服を着て遊びに来てくれた男の子の姿もあり、リユースの輪が定着していることを実感しました。

驚きの掘り出し物：紳士服の新品（値札付き）などの高品質な品も出品され、来場者の皆様に驚かせていました。

<スタッフの気づき>

ニーズの把握：80サイズ以下の乳幼児服の停滞を解消するため、0~1歳児のご家庭への周知を強化。

広報の工夫：「大人の服や紳士服の新品」など、意外な掘り出し物がある魅力をもっと伝えていきます。

リユース活動を通じて、ごみの減量と温かいコミュニティづくりを今後も進めてまいります。